

## 道心坂の今と昔

西村日子三郎

雪も消えた四月の上旬、さわやかな春風に乗って小鳥のさえずりも聞こえます。木の芽もほころび始め、高い丘の上から西方の彼方に三条市街がかすんで見えます。東に守門、粟の連山あり、その下に流れるは源を下田に発した五十嵐川の水の豊かさは三条市民の命の泉でもあり、その下流にはるか遠くかすむは弥彦、角田の山々が、一大パノラマのごとく迫ってきます。

やがては一大観光名勝の地となるであろうここ風光明媚な道心坂も、昔があり開発の歴史もあります。

その道心坂の七十年前の姿と今日までの歩みを簡単に紹介してみたいと思います。

昭和初期の道心坂は下田村（下大浦）へ五十嵐川を渡らず行ける、ただ一つの道でありました。当時の岡の町には一軒の家しかありませんでした。その家を過ぎるとすぐ両側に杉の林があり薄暗く、すでに山へ入ったように思われたものです。部落をはずれると荷車も段々通れなくなり行き止まりのような道でした。

養護学校(注1)を過ぎてしばらく歩くと右側の小高い丘の上に元県会議長や、三条市長をされた渡辺常世氏の胸像があります。その前にある石の地蔵さん(現在のものと違う)の脇を通ると深い谷へと通じていました。その底に小さな小川があり冷たいきれいな水が、サラサラと流れていました。そこには沢蟹、サンショウ魚などがたくさんいて、子どもたちはそれを捕ったりしてよく遊んだものです。

下大浦へ行くには今度は東の方の道を登らなければなりません。いわゆる谷を越え山を越えの道でした。道幅五十センチくらいだったでしょうか。もちろん自転車など通れる道ではありません。

戦争が終わり日本は敗戦で苦しみました。失業者も大勢出たのです。その対策措置として救済事業の一つの仕事が下田へ通じる道路建設となったわけでありました。毎日何十人の人たちが山を削りトロッコで土を運び五十嵐川寄りに沢を埋めていったのです。大型機械を使うわけではないので何年もかかって、やがて堤防をかねた高い道路ができました。しかしその反対側は深い谷です。そこで三条市は不燃物の埋立地として使用し(注2)、現在も続いておりますが、完成すると広々とした遊園地、あるいは球場、屋外グラウンド(注3)に発行した思い出の記『上葉散る伸びる木の根に書き載せる』では、この部分が「公園」に書き改めてある(注3)。以下、下線箇所同じ)、何に変わるかわかりませんが、将来に期待したいものです。

舗装された堤防沿いの道路に大きな桜の木が約三十本程植えられております。花時期は見事な眺めとなり、行楽の人たちの目を楽しませてくれるでしょう（前同…「ます」に書き改め）。その桜は昭和三十五年（前同…「三十四年」に書き改め（注4））に植えられたものです。直径三センチほどの小さな木でした。地域の発展と道心坂観光開発のため、地区の若い人たちが十五、六人で発起人となり市並びに部落共有地に、それぞれ各機関の了承を得て植えられたものです。地元大勢の方々から寄付応援を得て植えた桜の木は七十本でありました。なくなつたのも相当あります。大きく育つた桜もそれなりに苦勞もありました。せっかく咲いた花も行楽の人たちに折られたこともあり、三条市はじめ、三条教育委員会あてに桜の苗木愛護について協力もお願いしました。

農協倉庫の掃除したあとにたまった破袋の肥料などもらい受け、木に与えました。また子どもたちもお願いして桜の木を愛していただくための標語など書いて下げてもらったものです。

その後、道心坂観光協会という組織も作り、市の観光協会、ロータリークラブ、ライオンズクラブから、休み小屋三棟も寄贈していただき、その一つを（現在の養護学校）部落の共有地であり、杉（前同…「松」に書き改め）の木が沢山植えてあったがその間の眺めのよい場所へ造らせてもらいましたが、大勢の人たちから楽しんでもらった反面、不心得の人もあり、その建物をこわされたりもしました。

現在の本成寺公民館月岡分館と月岡公民館はこの木が切り出されて建築されたものであります。

道心坂は今、立派な道路となっておりますが、当時は自動車も行けず観光地としての準備もまったくなかったものです。

私たちの力が弱かったことと、運動不足から自然その組織も解体してしまいました。それから数年後川俣芳衛氏が道心坂開発に着手され、山を切り開き道路も造成されましたが、地元の方々はじめ地主の人たちとの意見の相違もあり、工事の進まぬまま現在に至っております。(前同…この部分削除)

私たちはこの恵まれた地を放任することなく、一日も早く一大観光地となるようお願い、これがまた憩いの場であるとともに、地域発展に通じることを期待するものであります。

(昭和五十八年〈1983〉)

『古里の昔を語る』より抜粋

注1…新潟県立月ヶ岡特別支援学校〈昭和40年(1965)開設〉 注2…昭和46年(1971)供用開始

注3…道心坂に隣接する月岡地内に、球場などを含む三条市総合運動公園(槻の森運動公園)の建設が平成5年(1993)に着手され、平成17年当時すでに完成していたため書き改めたと思われる。

注4…平成17年の自分史では昭和34年と書き改められているが、残された写真の年月は昭和35年となっており、昭和35年の誤植の可能性もある。